

春夏秋冬

大阪・関西万博中止を求める署名を呼びかけます

万博、本当に開催するの？

副理事長 平尾 清司 (大阪市港区)



協会は大阪府・市などが開催準備を進める2025年大阪・関西万博の中止を求めている。今年に入り開催地域での汚染土壌のガス爆発が起り、災害時の避難計画もいまだないところへ、小中学生を無料招待の下に動員させる方針が府民の大きな不安を増大させている。大阪市内で開業する平尾清司副理事長が署名への協力を呼びかける。

万博、止めた方がいいの。本当に開催するのだろうか。ガス爆発するのだろうか。と言っている場所が万博、本当に開催する気なのか。

子ども無料招待事業。無料招待なのか徴兵なのかよく分からないが、アンケートが小学校・中学校の330校が未定・検討中だったというのだ。交野

市山本景市長が言っているが市内13校すべて参加の意向がなかった。このアンケート自体が恣意的な内容だったようだ。参加希望と未定・検討中という選択肢しかない。さらに未定・検討中という選択肢がなかったのが一つ。さらに未定・検討中という選択肢がなかったのが一つ。さらに未定・検討中という選択肢がなかったのが一つ。

らに620校が未回答。いろいろな話を聞いた。高校の時の先輩に学校関係者がいる。万博会場ではすぐ歩かなければならぬ。また万博見学に当てられた時間帯がうまくいかなかった。工事が始まっているから止められないとあきらめる必要はない。こんな危険なところへ子どもたちを連れていけるかという現場でも困っていると聞いた。署名への協力を呼びかけたい。

今号に同封しています



政府の意見募集に多数の怒りの声 保険証を廃止させない 運動続ける

厚生省は5月24日から6月22日、健康保険証に関する意見募集を実施した。今回、政府は健康保険証の交付義務の規定を削除しようとしており、その前提として国民に意見を求めたものだ。

協会ではマイナ保険証を持っていない会員から意見を伺った。協会に届いた会員からの意見にはこうある。「当院ではマイナ保険証を持っていない患者はおりません。こんな状況で保険証を廃止したら受付窓口が機能不全になります。医療現場を支えてくださいます。その損害を厚生省は支払ってください。医療現場を知らず

療情報を医療機関等に公開するのを選択することができず、自己情報のコントロール権が確立していない。マイナンバーは、多くの個人情報報が紐付けされており、カード化やスマホにアプリとして取り込んで運用するには、セキュリティ面で大きな問題がある。マイナンバーカードを健康保険証として、常時携帯するよう運用は不適切である。

寄稿

機能性表示食品の問題点【後編】 規制緩和で品質管理野放しに

大阪府保険医協会 副理事長 高本 英司

機能性表示食品 制度導入の背景

すべての機能性表示食品は、科学的根拠が薄弱でも届け出さえすれば国の審査なしに受理され、短期間に商品化が可能で、しかも発売後の効果の再検討も不要というものです。

このような機能性表示食品が、なぜ大手を振って販売され続けているのか。小林製薬も2000年代以降M&Aを積極的

患者の声をバツクボーンに 医療を前に進める

協会は8日、第15回理事會を開き、診療報酬改定6月実施がスタートし施設基準の届出状況や会員の受け止めなどの交流、保険証残せ・オンライン資格確認義務化・オンライン請求義務化を撤回する運動と対応、先月開催した評議員会のふりかえりなどについて協議した。ベースアップ評価料については会員の中に、「算定しないと政府が今後点数を付けない可能性があるので不安もあり、やむなく届出をするような会員もいるようだ」との発言があった。一方、「患者さんから明細書に

は、再度「健康食品の表示・広告の適正化に向けた対応策と、特定保健用食品の制度・運用見直しについて」の建議が発出

問題点を学習し安全・安心な健康食品の導入を

安倍政権から岸田政権に至るまで規制緩和の下、健康食品の品質管理の野放し状態が続いてきました。

さらに、大阪市・厚生省の行政的対応の後追い問題となっています。人員不足である検査官の増員を実現することも要望していく必要があります。有毒毒素混入紅麹食品事件を一時のパニックに終わらせることなく、安全・安心な健康食品提供のシステム作りのために抜本的な改善が必要で

